

学校だより 第1号



たかつな



～家庭学習について その1～

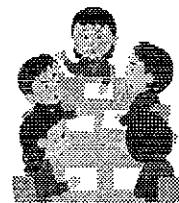
生徒の学びがさらに高まっていくよう、家庭学習の在り方について、学校だよりの中でお知らせしながら、保護者の皆様と歩んでまいりたいと思います。ご協力の程、よろしくお願いいたします。

中学校での学びは、単に知識を蓄えるだけでなく、自分に合った学習方法を見つけ、自らを律する力を養う大切な時期にあります。高綱中学校ではこれからの時代を生き抜く力を育むため、「指示された宿題をこなす」形から、生徒自身が「自分の学びを調整する」家庭学習への転換を図っております。

1 家庭学習の目的と価値について

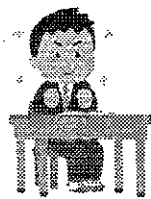
1) 家庭学習の「目的」：自分の学びを調整する
高綱中学校では画一的な宿題を基本的に課していません。家庭学習を「提出するための作業」ではなく、「自分自身の学びを調整する場」と考えているからです。学びの進捗を確認するには、授業の内容が定着しているか、自分自身で確かめる必要があります。

○授業で学ぶ → 理解できたかどうか？（家庭学習で自己確認）



[YES]

次の学びへ

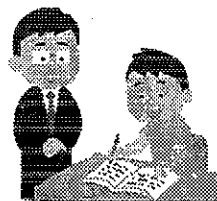


[NO]

どこがわからないのか確認

復習・調べ直し

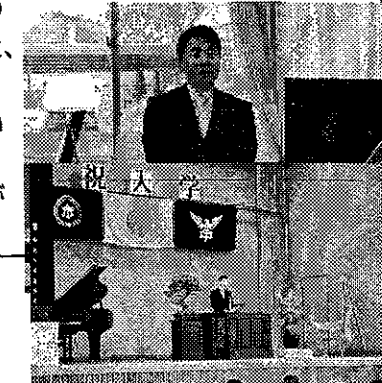
再び理解確認



～野澤新校長 着任式より～

高綱中学校の皆さん、こんにちは。今日、皆さんと出会うことを楽しみにしてきました。私はこれまで中学校で技術・家庭科を担当して、ものづくりを中心に、探究してきました。この3月まで勤務していた上田市の丸子北小学校では、小学1年生とヤギ牧場をつくり、ヤギの飼育に挑戦したり、小学2年生とソルガムという穀物を育て、畑に巨大迷路をつくり、地域の人と楽しんだり、ソルガムのスイーツを開発したりしてきました。また、県内の中学生とエコカーづくり挑戦してきました。

この高綱中学校でも、みなさんと何かを「探究して」挑戦を続けたいと思います。そのために、「みなさんが、自分らしく ありのままに」いられて、学べる学校づくりをしたいです。これから「皆さんが主人公」の学校を一緒に作っていきましょう。



～入学式学校長 式辞～



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。本日、皆さんを本校に迎えることができ、とても嬉しく思います。また、保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学、誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。

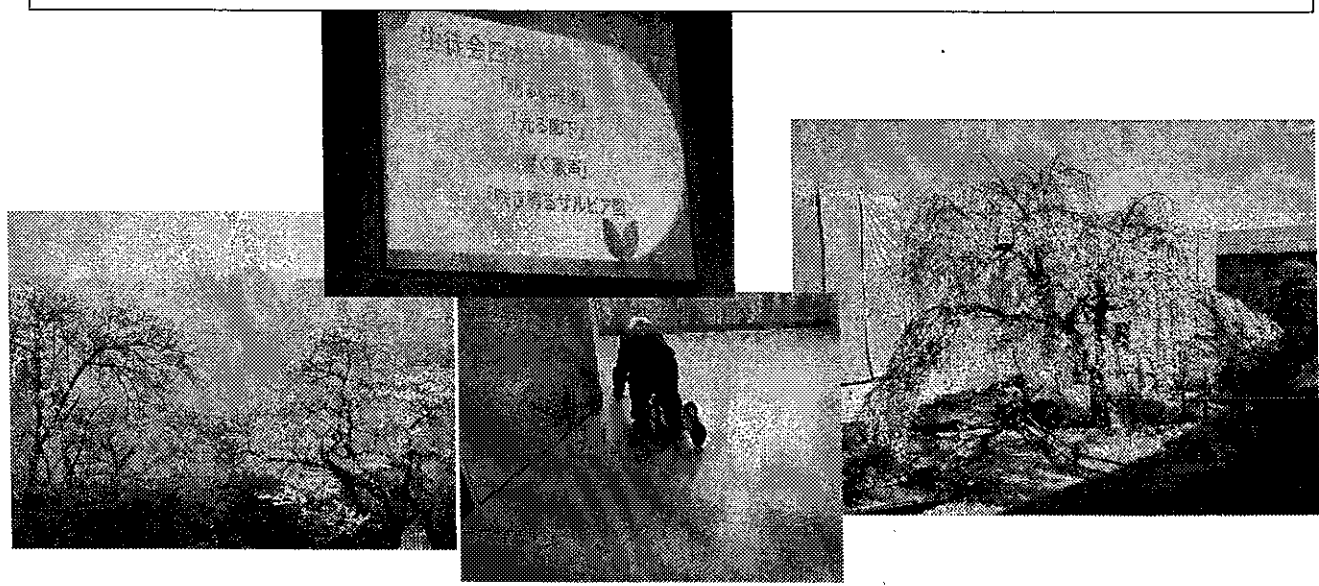
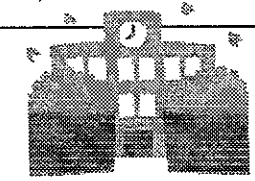
さて、新入生の皆さん。

今日から始まる中学校生活は、小学校とはまた違った、新しい学びと出会いに満ちています。その中で、皆さんに伝えたい言葉があります。それは「探究しよう」という言葉です。「探究」とは、ただ答えを覚えることではありません。「なぜだろう」「どうしてこうなるのだろう」と疑問を持ち、「おもしろそうだ！」「やってみたい！」と自分なりに考え、調べ、そして深く理解しようとチャレンジすることです。これからの予測困難な社会では、正解が一つとは限らない問題に向き合う力が求められます。そのときに必要となるのが、この「探究する力」です。授業の中や学校生活の中で、友達との関わりの中で、ぜひ、たくさんの「なぜ」「おもしろそうだ！」「やってみたい！」を見つけてください。そして、自分の考えを持つことを大切にしてください。時には、うまくいかないことや、答えが見つからないこともあるでしょう。しかし、それこそが「探究」の大切な過程です。あきらめずに考え続けることが、皆さん自身の成長につながります。今、話したことは高綱中学校の学校教育目標の3つのうちの1つ目の「自主：自ら進んで深く考える」と2つ目の「剛健：ねばり強く、たくましく求め続ける」につながります。3つ目の「友愛：他者も自分も大切にできる」について話します。多様性が求められる社会です。身の回りで「いろいろな違い」があると、息苦しさを感じることもあります。うまく受け入れられると日常が豊かになります。自分と違う考えや経験に触れると、新しい発想や学びの幅が広がります。学校生活で、いろいろなタイプの人と出会うと自分の「当たり前」をアップデートできます。ぜひ、多くの人との対話をしてみてください。

先生方は、皆さん一人ひとりの「探究」を支え、共に学び、共に成長していきたいと願っています。

皆さんが、この高綱中学校で多くのことに挑戦し、自分らしく学校生活を過ごすことを心から期待しています。

結びに、お忙しい中をご臨席賜りましたご来賓の皆様にご挨拶申し上げます。今後ご支援をいただきますようお願い申し上げます。

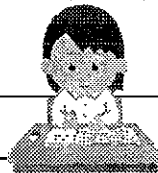


～始業式 生徒代表 1学期の決意～



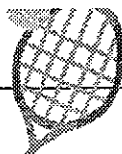
○新しいスタート 2年Y.Sさん

1年前、私たちは不安と期待を胸にこの高綱中学校の門をくぐりました。わからないことだらけの中学校生活を先輩や先生方に教えていただいていた私たちも、いよいよ2年生になります。1年生の先輩となり、3年生を支えるという立場になるには、中学生として使命感を高めていかなければいけないと感じています。したがって私は次の3つことに挑戦します。1つ目は「挨拶」です。みなさんは挨拶を大切にしていますか？友だちや家族、先生等への「おはよう」「こんにちは」という何気ない挨拶が日々相手との関係を繋いでくれる大切なものだと思います。そのため、挨拶をもっと身近にして、いろいろな人に挨拶できるように心がけていきたいです。2つ目は「全力」です。1年生を振り返ると勉強量が明らかに少なく、2学期期末テストで悲惨な目にあったことをとても覚えています。しかし、3学期期末テストでは自分なりのやり方で勉強に全力を尽くしてみたら、少し点数を上げることができ、うれしかったです。苦手だった勉強は「苦手だからやらない」ではなく、「やらないから苦手」だったということに気づきました。勉強だけでなく部活動や学校行事等、苦手なことにも前向きに取り組んでいきたいです。3つ目は「当たり前を大切に」です。私たち2年生は、これからの行動が手本になることがあるかと思っています。そのためにルールを守る、周りの人への思いやりなど当たり前のことをこれまで以上に大切に、1年生や3年生にとっても過ごしやすい環境になればいいなと思います。日々の当たり前を大切に学校生活を送っていききたいです。この3つことを大切にしながら、2年生という自覚を持って、この1年を「新しいスタート」にふさわしい実りのある1年にしていきたいと思っています。



○1学期がんばりたいこと 3年K.Mさん

私が1学期がんばりたいことは、嫌なこと苦手なことから逃げないことです。私は、難しいこと自信がないことをつい後回しにし避けてしまうことがあります。しかし、このままでは成長できないと思い、少しずつでも挑戦していきたいと思いました。まず、勉強面では、私は勉強が好きではなく、頭ではやらなければいけないと分かっている、逃げてしまうことがありました。特に苦手な教科は後回しにしてしまうことが多かったです。なので、これからは苦手な教科にも少しずつ向き合い、分からないところをそのままにせず、理解できるように努力していきたいです。また、私は自分の意見を相手に伝えることが苦手です。自分の意見に自信がなく、なかなか言葉にすることができません。これからは、授業や日常生活の中で自分の考えを伝える機会を大切に、少しずつ自信をつけながら、自分の意見を伝えられるようにしていきたいです。部活動のテニスでは、苦手なプレーを練習し、少しでも上達して、1試合でも多く勝てるようがんばりたいです。今年、中学校生活最後の年で、受験生でもあります。後悔のないように友だちとの思い出を作りながら、1日1日を大切に自分の目標に向かってがんばりたいです。



～新任職員紹介～

14名の教職員がお世話になります。それぞれの持ち味を活かし、令和8年度の高綱中学校を盛り上げていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

氏名	教科・担当・役職	前任校等
野澤 重徳	学校長	上田市立丸子北小学校
柳澤 ひろみ	社会科・1学年副担任・6組C担任	塩尻市立丘中学校
中塚 溪滋	数学科・2学年副担任	茅野市立長峰中学校
西村 英雄	理科・3学年副担任	松本市立梓川中学校
花村 晨	数学科・3学年副担任・5組担任	松本市立山辺中学校
北澤 信	理科・1学年副担任	松本市立女鳥羽中学校
山本 明美	保健体育科・1学年担任	松本市立山辺中学校
寺島 芽惟	保健体育科・3学年副担任・6組B担任	諏訪市立諏訪中学校
吉田 咲子	英語科・2学年担任	安曇野市立豊科北中学校
伊藤 満	英語科・2学年副担任	松本市立清水中学校
倉上 尚子	自立支援教員	松本市立旭町中学校
中川 岳	理科・2学年副担任	松本市立高綱中学校(療休補充)
小松澤 裕子	事務職員	松本市立島立小学校
エグザスタンス・ジャクソン	英語 (ALT)	

～お知らせ～

○以下の担当者が相談を承ります。心配なことがございましたら、遠慮なくご連絡下さい。

小林 明歩 (保健室) …健康相談、スクールカウンセラーについてのお問い合わせ
セクハラについてのご相談

野澤 重徳 (校長) …教育相談 (学習、生活、対人コミュニケーション)、いじめ、
赤羽 康隆 (教頭) …校外での生徒の様子、職員の非違行為等